

国営事業だより

水を繋ぎ、地域を興す



第23号

平成27年1月20日

発行元
北陸農政局柏崎周辺
農業水利事業所
柏崎市南半田18-15
TEL: 0257-24-5731

ホームページは
柏崎 国営 で



新年のご挨拶



所長 渡邊昭弘

新年明けましておめでとうございます。今年も未年(ひつじどし)です。羊は群れをなして行動するため家族の安泰や平和をもたらす縁起物とされています。本年が皆様にとりまして安泰で平和な年となりますようお祈り申し上げます。

市野新田ダムでは、昨年の夏に仮排水トンネルを掘削し、秋には仮排水トンネル内のコンクリートを打設するとともに、ダム堤体の盛立材料の現地試験、周回道路の整備を進めてきました。現在は、トンネル周りの止水と基礎地盤を安定させるためのグラウトを行っているところです。幹線導水路工事では、上野工区で道路下の推進工法により管路を整備し、宮川新田工区では4区間で計738mの鋼管を布設しました。それぞれの工事の際して、交通規制や工事車両の通行等により地元の皆様にはご不便をおかけしましたが、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。

本年も、地元の皆様にていねいに説明しながら、交通安全、騒音・振動・濁水などに十分気をつけて市野新田ダム、幹線導水路等を施工し、柏崎刈羽地域の農業の発展と地域の振興を目指して事業を進めて参ります。今後一層のご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

工事の実施状況・完了報告

H26.10.09撮影



① 市野新田ダム 建設工事
昨年は、ダム堤体部の掘削、法面保護、盛立材料の試験、仮排水トンネルの掘削と覆工、鵜川の護岸工事及びダム湖周辺の道路造成などを実施しました。地域へのダンプの往来や道路の補修に際しては、地域の皆様からご協力をいただくことで、順調に工事を進めることができました。今年も、石橋川の流れを仮排水トンネルに切替えて、石橋川河床部の掘削や、ダム基礎地盤の止水性を高めるグラウト工事を行います。

② 幹線導水路工事
昨年の上野工区と宮川新田工区の工事では、交通規制などご不便をおかけしましたが、予定どおり完了することができました。今年も、鵜川を横断する水管橋の左岸側の工事を引き続き実施するとともに右岸側の工事にも着手する予定です。



鋼管の溶接状況 (宮川新田工区)

③ 市野新田導水路工事
鵜川からの取水を市野新田ダムまで導水するためのパイプラインを整備する工事です。昨年は、片側交互通行など地域の皆様のご協力をいただきながら、概ね完了することができました。残りの区間については、来年度に実施する予定です。

「百聞は一見にしかず」 現地見学会を多数開催

10月に、地元の皆様をはじめ、新潟大学の学生、地元の小学生、土地改良の技術者など多数の方々、市野新田ダムを見学しました。また、11月には、鵜川水系の農家を対象に、新潟県が行っている大区画ほ場整備「高田北部地区」と市野新田ダムをセットで見てもらい、今後、生産性の高い農地と安定的に供給される農業用水により、柏崎刈羽地域の農業が振興されていくことを感じていただきました。



連載「農業の多面的機能」 第6回 農地による気候緩和機能

湛水した水田は、水の蒸発散による気化熱で、周囲の気温を低下させる機能を果たしています。柏崎刈羽地域においては、水田により周囲の気温上昇が1℃抑えられることで、夏季の冷房代に換算して年間3200万円分もの節電に貢献していると試算されています。



農業まつりに出席

昨年10月25日に開催された柏崎農業まつりに出席しました。事業内容や食育活動を紹介するパネルやパンフレット、国営柏崎周辺地区を再現したジオラマを展示するとともに、来場者には後谷ダムの万灯会で使用するキャンドルグラスに給付けをしてもらいました。

